

県議会議員

あらい、絹世の

磯っ子レポ

県政を
もっと
身近に



<http://www.arakinuyo.jp>

新規事業に妊孕性温存治療費補助など 252億円、県の6月補正予算案を審議

6月12日に開かれた県議会の本年度第2回定例会本会議に県から一般会計の6月補正予算案が提案され、審議が進められています。4月に知事選挙が行われたため4月に提案された本年度の一般会計当初予算案は骨格のみの予算案でしたが、これに肉付けするための予算案で252億300万円に上る大型のものです。中身は従来の施策を引き継ぐ「持続可能な神奈川の進化・発展のための施策」に「未来社会創造につながる施策」を加味したもので、黒岩祐治知事が選挙で訴えた「コミュニティ再生・活性化で笑いあふれる100歳時代」のキャッチフレーズに沿い、健康長寿社会実現に向けた事業などが多く含まれています。予算案は7月8日の本会議で採決が行われる予定ですが、多くの事業の中で私が注目しているのは次の項目です。

■未病改善プロモーション事業費(2929万円)=人々が未病改善への関心を高め取り組みを推進するよう「広告医学」の考え方に沿った新たな事業を展開。分かりやすく、健康を考えてもらう映像をつくり映画館で上映してもらう計画。 ■妊孕性(にんようせい、生殖機能)温存治療費補助(575万円)=若年のがん患者が治療によって妊娠が低下しないよう生殖機能を温存する治療費への補助を新たに始めます。卵子や精子の保存や妊娠・出産の可能性を高める治療で、保険適用外のため高額な費用負担が課題となっていますが、女性は20万円、男性は2万5000円を上限に1人1回補助します。県では対象者を年間62人と見込んでいます。妊孕性医療については私が平成28年9月の議会での質問に取り上げており、今回の実現化への取り組みを嬉しく思います。 ■災害に強いまちづくり(71億4175万円)=国の「防災・減災、国土強靱化のための3カ年(2018~2020)緊急対策」などに対応して防災のための重要インフラの機能維持のための公共事業などを行います。県道42号など10カ所の橋、引地川など19カ所の河川海岸、8カ所での砂防・港湾事業が対象。 ■森林環境贈与税に関する県の取り組み(9735万円)=国では今年4月から森林環境贈与税の制度をスタートさせました。これにより神奈川には今年度、国から県内の市町村に直接3億8940万円の税が譲与され、県にも9735万円が譲与されると見込まれています。県ではこれを同税基金として引き続き市町村の森林整備・普及啓発事業を円滑に行えるようにするための費用に充てます。県が事業に参画するのは従来の同事業は実質的に県が担い、市町村独自の取り組みが確立していないためです。



コレが言いたい!

知事が掲げる「コミュニティ再生で笑いあふれる100歳時代」の「笑い」には違和感を感じます。『笑い』は「楽しい」「おかしい」という感情を表現したもので、例えば一人で面白いテレビを見ていても笑う事はできません。一方『笑顔』は対人した相手との関係のなかにうまれるものだと思います。周囲とコミュニケーションを取る事で『笑顔』が生まれるものであり、人との交流を考えるのであれば「コミュニティ再生で笑顔あふれる100歳時代」にすべきと考えます。

今月のひと言

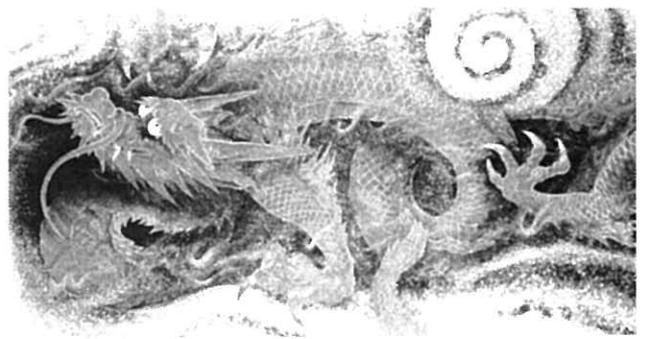
今年より7月20日は「中小企業の日」、7月の1ヶ月間は「中小企業魅力発信月間」とする事が決定されました。県では中小企業・小規模企業の経営者に、経営状況が下降する前にその兆し(企業経営の未病)に気づいて貰い、早期に必要な対策を講じて貰うことで、少しでも健全経営にもっていこうと「企業経営の未病を見える化するチェックシート」を作成しています。

磯子あれ? これ?

大聖院本堂の「外陣天井画」(PART2)

本堂外陣天井画「赤龍」が描かれた由縁は、奥田元宋画伯の最初の夫人龍子さんが、大聖院先代住職(第31世興 勝和尚)の叔母にあたり、根岸湾が風光明媚な遠浅の海岸だった頃、ご夫妻で時折、同寺を訪ねたことで菩提寺としたことがきっかけ。夫人の没後七回忌の昭和56(1981)年に供養のため、龍子夫人の名になぞらえて奉納したものです。独自の風景画を確立した奥田画伯にとって龍の絵は珍しく、大きさは縦約1m、横約2mの大作で躍動的な「赤龍」が描かれています。周りには画伯の門人17人が、故人を偲び、四季折々の花の絵を3回に渡り奉納しました。現在では、50枚の絵(一枚が座布団程の大きさ)が描かれています。

奥田元宋(巖三)略歴 : 明治45(1912)年広島県双三郡(現三次市)に生れる。昭和27(1952)年より短歌を始め、昭和56(1981)年に歌会始に天皇陛下より招かれる。昭和59(1984)年に文化勲章を受章、昭和64(1989)年に広島県名誉県民に選ばれる。平成15(2003)年没。



活動報告

6月1日(土)、神奈川県動物愛護センター竣工・開所式に所管する厚生常任委員会委員長として出席しました。動物愛護センターの建て替えについては議会では 様々な議論が行われました。「動物を処分するための施設」から「生かすための施設」として新たに生まれ変わった施設ですが、殺処分ゼロを継続するにはボランティアの協力無しでは成し得ません。旧施設の跡地の活用など今後も委員会で議論を重ねてまいります。



あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井(株) / (株)メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成31年4月 県議会議員3期目当選
- 厚生常任委員会委員長
- 議会改革検討会議委員
- グランドデザイン調査特別委員会委員
- かながわ自民党女性議員局長